

# おおだて 市議会だより

123号

平成29年2月1日



桂城小学校6年生が12月定例会を傍聴

平成28年 **12月定例会** (会期:11月29日~12月15日)

- 主な議案等の審議結果 (12月定例会) ..... P.2
- 一般質問 ..... P.4
- 小学生が傍聴に ..... P.8
- 議会報告会の結果 ..... P.9
- 私もひ・と・こ・と ..... P.10

12月定例会 (議場)

平成28年12月6日撮影

# 主な議案等の審議結果

## 12月定例会（会期：11月29日～12月15日）

内訳：専決処分の報告1件、報告1件、条例案11件、単行案6件、予算案8件、人事案4件、  
 請願1件、陳情5件、継続審査中の請願6件・陳情3件

計46件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
<p>○ 佐々木教育振興基金を設置する条例案</p> <p>佐々木文子さんからの寄附金を、ご本人の希望により、本市の将来を担う人材の育成事業等に活用するため、基金を設置するものです。</p>	<p>原案可決</p>
<p>○ 地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税を行うための条例案</p> <p>秋田県地域再生計画に基づき、東京23区内に本社を置く企業が本社機能等を移転、または地元企業が本社機能を拡充した場合に、その施設にかかる固定資産税を軽減するため制定するものです。平成30年3月31日までに地域再生法の規定による計画の認定を受け、それから2年以内に移転・拡充を行う事業者が対象となります。</p>	<p>原案可決</p>
<p>○ 農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例案</p> <p>農業委員会等に関する法律が改正されたことに伴い、農業委員会の委員と新たに設けられた農地利用最適化推進委員の定数を定めるものです。このほか、農業委員会委員候補者選考委員会の設置や委員の報酬等を規定する条例案なども提出されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業委員会の委員の定数 19人</li> <li>・ 農地利用最適化推進委員の定数 18人</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 平成29年7月20日より</p>	<p>原案可決</p>
<p>○ 松下村塾に関する条例の一部を改正する条例案</p> <p>増築が進められている中央図書館の敷地に移築されるため、位置（移築前は北神明町6番31号）の変更や冷暖房料について定めるものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 位 置 字谷地町12番地</li> <li>・ 冷暖房料 実費負担</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 平成29年4月1日より</p>	<p>原案可決</p>
<p>○ 指定管理者の指定</p> <p>次の施設の平成29年度からの指定管理者が指定されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田代老人福祉センター 【友愛ビルサービス】 5年間</li> <li>・ エコプラザ 【東北ビル管財株式会社】 5年間</li> <li>・ 農産物集出荷加工施設 【あきた北農業協同組合】 4年間</li> <li>・ 小畑勇二郎記念館 【友愛ビルサービス】 5年間</li> </ul>	<p>原案可決</p>

<p>○ 平成28年度大館市一般会計補正予算（第5号）案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済対策臨時福祉給付金給付事業費 864万円</li> <li>・ 生活保護扶助費の追加 608万6,000円</li> <li>・ 県営土地改良事業費の追加 8,398万円</li> <li>・ サテライトオフィス事業費 51万9,000円</li> <li>・ 社会資本整備総合交付金事業費の追加 6,900万円</li> <li>・ 特定建築物耐震改修支援事業費 2,300万円</li> <li>・ 教育振興基金費 1億円</li> <li>・ 社会教育施設耐震診断事業費 1,147万7,000円</li> <li>・ 体育施設改修事業費 7,785万7,000円</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上を含め、補正総額4億7,827万7,000円</p>	原案可決
---	------

## 請願と陳情

### 12月定例会に提出されたもの

請願	○ パークゴルフ場の設置について	継続審査
陳情	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求めることについて</li> <li>○ 地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求めることについて</li> <li>○ 介護保険の給付縮小や負担増を中止し、充実を求めることについて</li> <li>○ 高額療養費や後期高齢者の窓口負担の見直しに当たり、現行制度の継続を求めることについて</li> <li>○ 若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求めることについて</li> </ul>	

### 継続審査となっていたもの

請願	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ TPP交渉の合意の撤回を求め、協定の調印・批准を行わないことについて</li> <li>○ TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求めることについて</li> </ul>	趣旨採択
請願	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について</li> <li>○ 労働基準法改定案の撤回を求めることについて</li> <li>○ 原発の再稼働中止を求めることについて</li> <li>○ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて</li> </ul>	継続審査
陳情	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歯科衛生士を市の正職員として雇用することについて</li> <li>○ 脳しんとう（軽度外傷性脳損傷）の周知、及び医療・支援体制の整備について</li> <li>○ 法輪功愛好者への迫害及び臓器の強制摘出の停止を求めることについて</li> </ul>	継続審査



佐藤 健一 議員 (いぶき)



## タイ王国・台湾への トップセールスについて

〈問〉 タイ王国・台湾へのトップセールスの成果と見込みは。

〔市長〕 トップセールスには、県知事や県内の首長以外にも商工団体・教育機関・金融機関の代表が参加し、観光面に限らずさまざまな分野での交流が図られている。昨年は、県とタイ政府などが連携したタイ・秋田県関連企業支援ネットワークの設立、県と台湾経済部工業局との産業連携に関する覚書の締結が行われた。ことは、タイ王国での秋田スポーツ合宿誘致活動や旅行会社への個別訪問、台湾ではチャーター便誘致の働きかけ、本市と高雄市の中学校間での教育連携交流の提案などを行った。成果として、タイ王国では本市で撮影された秋田犬動画が週1回、テレビで放映されるなど、秋田、大館の認知度が高まっているほか、10月の新・

秋田の行事に台湾から2団体が参加して伝統芸能を披露するなど、交流が深まってきている。

## 10月に樹海ドームで 開催された各種 イベントについて

〈問〉 各種イベントの集客数と経済波及効果について。

〔市長〕 集客数は、ふるさとあきたランが4,000人、きりたんぼまつりが13万人、大館圏域産業祭が3万6,000人、新・秋田の行事と肉の博覧会が11万3,000人であった。経済波及効果は、きりたんぼまつりで10億円を超えると推計しており、新・秋田の行事と肉の博覧会については集計中である。

〈問〉 きりたんぼまつりの集客数が多過ぎ、サービス低下の評価があるがどうか。

〔市長〕 駐車場については、お客様にシャトルバスの利用に御協力いただいたほか、ドーム前道路の一方通行化を実施し、渋滞緩和に成果を上げたところであるが、周辺駐車場の確保について検討を進めている。また、会場内ではこれまでにない長蛇の列が複数でき、お客様を大変お待たせする事態となった。実行委員会では、きりたんぼ出店数の拡大など、お客様に満足していただける受け入れ体制の整

備に向けて取り組むこととして  
いる。

## TADJUNGN

〈問〉 農業政策を含めて現時点での市長の考え方は。

〔市長〕 国・県と連携しながら農業に英知を結集させ、攻めと守りの両面から意欲ある農業者が安心して農業経営に取り組めるような必要な施策を展開し、支援してまいりたい。

吉原 正 議員 (いぶき21)



## 最近の農業情勢と 市農政の課題

〈問〉 「農協つぶし」とも言える規制改革推進会議の提言について、市長の見解は。

〔市長〕 農協改革は、農業者の声を踏まえながら真に農業者のためになる改革を進めるべきである。

〈問〉 平成30年からの生産調整、数量目標の配分廃止は過剰

生産による米価下落を招くおそれがあり、しっかりした対応が必要である。

〔市長〕 県の農業再生協議会の生産の目安に基づき、農家個々の目安を算定して通知する方向で検討している。農家に混乱が生じないように取り組む。

〈問〉 比内地鶏鶏糞処理施設が当初の計画どおりに稼働できず、生産者がみずからストックせざるを得ない状況がある。施設の改善が早急に求められている。

〔市長〕 生産者の皆様に御迷惑をおかけし、おわび申し上げます。施設や設備の増設は困難であり、現設備での最大能力が発揮できるよう理解を得ながら改善に努めてまいりたい。

## 安心して暮らせる 高齢者福祉の前進を

〈問〉 団塊の世代が75歳以上となる2025年問題についての認識と対応は。

〔市長〕 超高齢社会を迎える中で、医療や介護施設、地域コミュニティ等の社会資本を有効に活用し、要介護状態になっても在宅で自分らしい暮らしが人生の最後までできるよう、地域包括ケアシステムの構築を進めてまいりたい。

〈問〉 介護保険見直しによる

総合事業は、住民等の多様な主体が参画し、地域の支え合い体制づくりを推進することが求められているが、対応は。

〔市長〕 現状では、福祉事業者中心の今までの同様のサービスを提供の予定だが、住民主体の多様なサービス提供も可能なため、ボランティアによる掃除や買い物などの生活支援サービス、住民主体によるミニデイサービス等を提供する環境の整備と、ボランティア等の育成を図りたい。

## 移住促進について

〈問〉 移住交流課が新設された各種施策に取り組みされているが手応えは。

〔市長〕 現在、前年度の7人を上回る15人の移住者であり、施策の効果を実感しつつある。

## 閉校校舎の利活用促進を

〈問〉 大葛は閉校後5年を迎える。本腰を入れた取り組みを。

〔市長〕 星と緑と温泉の360度パノラマ・サテライトオフィス体験事業が国に採択された中で校舎活用にも取り組みたい。



佐々木 公三 議員 (いぶき)

## 鳥インフルエンザ(H5型)の対応について

〔問〕 監視対応と初動対策は万全か。万が一発生した場合の被害拡大防止体制は大丈夫か。

〔市長〕 鳥インフルエンザ予防対策会議を開催し、生産者・JA・県等と予防対策行動計画を確認した。飼養衛生管理対策を徹底周知し、生産者や北部家畜保健衛生所等の関係機関との連携と警戒の強化を図る。

## 交流人口拡大について

〔問〕 秋田犬ツーリズムに対する報告書への対応は。

〔市長〕 秋田犬ツーリズムのテーマである秋田犬等の宿泊施設整備とペットと触れ合える聖地が主提案。連携市町村と協議し、積極的に取り組む。

〔問〕 コンベンション協会等の総合組織づくりにより、大イベントを誘致してはどうか。



〔市長〕 大きなイベントは実行委員会や多くの市民協力の土、盛大に開催できた。さまざまなイベント誘致については関係者と連携の上、可能性を探りたい。

## あきた未来づくりプロジェクトについて

〔問〕 「(仮称)ハチ公の駅」が青森市のアウガの二の舞にならないように。

〔市長〕 この施設は、秋田犬を見て・触れて・楽しめるアミューズメント的な機能と忠犬ハチ公を伝える施設であり、案内所と物産館を備えた観光拠点施設として整備したい。

〔問〕 大型観光バスが多く駐車できる道の駅としての計画は。

〔市長〕 今後、既存施設の高機能化などさまざまな可能性を検討したい。

## 秋田犬ツーリズムのテーマ「秋田犬」について

〔問〕 「あきたいぬ」ではなく「あきたけん」と呼ばれている実態について。

〔市長〕 このことを「あきたいぬ」とPRする絶好の機会と捉え、丁寧に説明していく。

## 明日の日本を支える観光ビジョンについて

〔問〕 広域観光戦略についてどう考えるか。

〔市長〕 広域観光周遊ルートにおける大館の位置づけや函館・角館の3D観光を具現化したい。

## 片貝家ノ下遺跡 大館城・武家屋敷跡の今後の活用について

〔問〕 それぞれの遺跡の見学会・説明会に参加したが、これから貴重な遺跡の活用は。

〔市長〕 片貝家ノ下遺跡は国内初の貴重な遺跡。城跡も貴重な「宝」。確かな形で記録に残し、市民に提供する。

## 大館郷土博物館の拡充整備について

〔問〕 今後の拡充整備計画は。

〔市長〕 整備上の課題は多くある。まずは耐震調査を行う。

佐藤 久勝 議員 (平成会)



## 大館・鹿角医療圏の将来を

### 見据えた病院のあり方は

〔問〕 総合病院・扇田病院・労災病院・かづの厚生病院、そして秋田県を交え、独立法人化

とした医療の将来構想をスピード化し、圏域の医療体制の整備を着実に進めていただきたい。

〔市長〕 当地域においては、人口減少と医師不足のため、病院経営が大変厳しい状況となっている。今後、国の医療政策や周辺環境の変化により、病院の統合や経営形態変更などの議論が高まったときには県とも協議し、議会とも十分相談しながらどのような枠組み・形態が適しているかなどを検討していく。

## スポーツ施設の整備と利活用について

〔問〕 長根山球場・達子森野球場・田代野球場等スポーツ施設は老朽化してきており、公式大会の開催が懸念されているが、その対策は。また、予約等の利便性向上策について伺いたい。

〔市長〕 長根山運動公園内の施設は経年劣化が進んでいるが、達子森及び田代野球場は硬式野球大会の開催が可能な施設であることから大会の継続招致に支障のないよう実情を精査し、その維持に努めていく。また、現在大館市体育協会のホームページ上に各施設の空き状況を公開しているほか、ファクスでの予約受け付けをするなどサービス向上に努めている。

## 新庁舎の建設について

〔問〕 秋田市・潟上市・能代市の庁舎建設に当たっては、計画時より事業費が増加しているが、基本計画で示した事業費でおさまるのか。

〔市長〕 事業費の積算に当たっては、建築物価上昇率を15%、消費税を10%と想定し積算しているが、今回実施した基本設計事業者選定プロポーザルでは事業費を示し、その範囲内での建築やランニングコスト削減などについての技術提案をしていた。しかし、今後建築物価の高騰や市民要望を踏まえた面積の増加なども想定されることから事業費が増加した場合には、金額の多寡にもよるが、合併特例債の増額や活用できる国の補助金などにより、市の持ち出しを少なくしたいと考えている。事業費の増額に留意しつつ、可能な限り市民要望に応えられるよう基本設計を進め、設計案が固まり次第、議会に相談していく。



あべ 文男 議員(平成会)



### 観光交流拠点としてのハチ公の駅建設について

〔問〕 観光の拠点となるべきハチ公の駅は、大館市全体が元気な大館、「観光のまち大館」になるための事業でなくてはならない。また、大館市には秋田犬だけでなく、曲げわっぱやきりたんぼなど観光の目玉になる産業や食文化がある。これらの伝統工芸・食文化が体感できる施設を大館駅の近くに建設できないか。

〔市長〕 あきた未来づくりプロジェクト事業などを活用して建設する「(仮称)ハチ公の駅」は、観光拠点施設として、駅ビルや大館駅周辺をあわせて整備することにより、秋田の北の玄関口、さらには北東北の玄関口として核となるエリアを目指すものである。

### 秋田内陸線の 大館延伸について

〔問〕 観光まちづくりとは、観光による交流人口の拡大を通じて住民の暮らしの質の向上を目指すものである。地元住民、近隣市町村との交流によるお互いの町の交流人口の拡大のため、秋田内陸線を大館まで延伸させる運動を検討していただきたい。

〔市長〕 秋田犬ツーリズムを構成する北秋田市・小坂町・上小阿仁村並びに3D連携の仙北市と緊密に連携するとともに、JR、秋田内陸線とも協議を進めていく。

### 歴史まちづくり基金

〔問〕 佐竹西家の支配による武家社会であった歴史と、近代国家建設の礎となった鉱山の町いわゆる企業城下町としての歴史、どちらに重点を置いて歴史まちづくり事業を進めていくお考えか。

〔市長〕 いずれの歴史も大切にしたいとの正直な思いである。まずは、この計画の認定を得ることが第一であり、認定後に少しずつ成果を積み重ねていくことで、本市の歴史・文化・伝統に光が注がれる機運の高まりにつながる。

### 災害対策拠点としての 大型道の駅の 必要性について

〔問〕 ことしも地震・台風・火山の噴火など災害列島日本ではさまざまな災害が起こった。いつ何どき災害に見舞われるかわからない。そこで、災害対策の拠点となる大型道の駅を設置するべきだと思うが、市長のお考えは。

〔市長〕 道の駅の休憩機能・情報発信機能・地域連携機能に加え、災害対策拠点の機能を持つことにより災害時の活動機能が大きく高まることから慎重に検討したい。



さとう 眞平 議員(新考案)

### 駐車場の整備について

〔問〕 既存の球場は長年にわたり設備の劣化や駐車場の確保、トイレや雨水排水等で不便を強いられている。また、市を代表する田代野球場は、水はけが悪

く大会の開催場所をたびたび変更されている。これらの施設の改修・補修について市長の考えは。

〔市長〕 市が進めるスポーツによるまちづくり、人づくりのため野球場は必要な施設である。御指摘の球場は、いずれも築後20年以上、田代球場は54年を経過しており、トイレや観客席、水はけ等それぞれ課題があり、緊急度に応じて整備してきた。今後は実情を精査し、大会誘致の観点からも必要性を明確にして公共施設等総合管理計画により計画的な整備に努める。

### 外川原地区米代川 河川緑地側溝の 土砂除去について

〔問〕 たび重なる水害で土砂が側溝に詰まり、河川緑地内施設の水が全くとれていない。側溝の土砂の除去について市長の考えは。

〔市長〕 外川原地区の河川緑地は、ソフトボール場を初め、グラウンドゴルフや各種イベントが行われている多目的広場など、市民の健康増進や憩いの場として地域に必要な場所であるため、国の河道掘削事業と連動し、側溝のしゅんせつなど排水対策や施設環境の維持向上に努める。

### ラジオ局開設について

〔問〕 ITによる情報発信は受け手の年齢によつては理解されない場合があるが、ラジオ放送を使うことにより情報がリアルタイムに発信され、特に災害時には市民の迅速な安全確保のためになる。また、広域的に経済・文化等さまざまな分野の発信にも広がりがあると考えられる。ラジオ局の設置について市長の考えは。

〔市長〕 開設は基地局や中継局の整備に多額の費用を要するため難しい。しかし、市民への情報発信としてラジオは有効なツールの一つであり、災害時には重要と認識していることから既存のラジオ局を活用し、定期的に広報番組等の発信を検討し、市内の難聴エリア解消のため調査を考えている。

### 美しいまちづくり基金

〔問〕 市を縦断する国道のほとんどの区間の歩道等に雑草が見られ、市の美観を損なうので市から指摘してはどうか。

〔市長〕 改善箇所を国と相談し、市の道路も含め町全体の景観向上に努める。

**齋藤 則幸 議員 (公明党)**

### 路面下の空洞調査について

〔問〕 事故を事前に防ぐ意味からも、路面下の空洞調査に取り組むべきではないか。

〔市長〕 長倉交差点から新町交差点までの両側歩道については、顕著な空洞の反応が認められるAランクが7カ所となっている。追加の調査を間もなく行う予定である。

### がん検診について

〔問〕 検診による早期発見・早期治療の場合は9割以上が治ると言われている。いざというときに命を守ってくれるのが、がん検診である。取り組みについて市長の考えは。

〔市長〕 がん検診のPRとして、事業所等の協力を得てポスター掲示や、がん検診情報の提供を行うほか、高校生を対象として「がん予防教育」を実施する。



〔問〕 児童生徒へのがん教育・普及啓発に取り組んでほしい。教育長の見解は。

〔教育長〕 小・中学校では保健の授業や薬物乱用防止教室といった健康分野において、がんについても学んでいる。

### 介護ロボットについて

〔問〕 介護現場では7割の職員が腰痛に悩んでいる。また、慢性的な人手不足と言われている。当市でも介護ロボットについて独自に支援を検討しては。

〔市長〕 高齢者の見守りサポートや、介助者の身体的負担の軽減が期待される介護ロボットへの導入は有効な手段である。介護事業者の取り組みを支援してまいりたい。

### 「食品ロス」削減について

〔問〕 災害時に備えて多くの食品が備蓄され、消費期限後に破棄されてきたと思うが、例えば消費期限6カ月前などにフードバンクへ寄附しては。

〔市長〕 災害後の備蓄品については、これらが一度に消費期限を迎えることがないように計画的に毎年更新し、消費期限が近づいたものは防災訓練や防災キャンプ、町内会に実施する防災座談会などで試食してもらい、

廃棄することなく活用している。

### オストメイト対応トイレ(※1)の整備は

〔問〕 オストメイト対応トイレを整備すべき。

〔市長〕 オストメイト対応トイレは、市内に総合病院を初め3カ所に設置されている。新庁舎での設置については基本設計に盛り込みたい。公共施設への設置は増改築や改修などに合わせて検討したい。

**田村 儀光 議員 (平成会)**



### 市長就任2年目 福原市政の自己採点は

〔問〕 昨年の副市長以下、新人事発令後の喫緊の課題である人口減少対策の地方創生交付金獲得認定に向けたスピード感ある取り組みに、満点を差し上げたい。市長の自己採点は。

〔市長〕 過分な採点に恐縮至極であるが、私を内側から支え

てくれる職員がいてこそと考えている。しかし、6つの基本目標実現に向けては、まだ道半ばであり、地方自治の原点である住民福祉の向上・市民サービスの向上や、市民目線での行政サービスの充実、この役割を果たした上で今後も地方創生、人口増に向け、各種事業を進めてまいりたい。

### 29年度当初予算編成について

〔問〕 「攻めの予算」と報道されたが、大賛成である。必要不可欠な事業には上限なしで取り組んでほしい。市長の考えは。

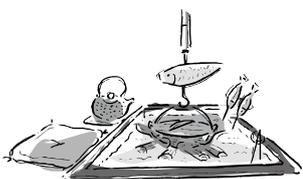
〔市長〕 29年度当初予算編成においては、本市の特徴を生かした交流人口・関係性人口の拡大、将来の大館を担う「大館人たる人づくりへの投資」を継続するため、全事業の再検証、財政の健全性堅持に重きを置いた編成を指示した。総合戦略事業については上限枠の対象外とし、徹底したPDCAサイクル(※2)による効果検証を行っている。2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたホストタウン事業やスポーツ合宿の誘致、秋田犬ツーリズムを中心とした観光の広域連携など、交流人口拡大を進め、地方創生を実現するために「攻め」の姿勢で取り組んでまいりたい。

### 議会報告会での

### 市民要望について

〔問〕 8会場で実施され、4会場に出席した。計65名の参加者から多岐にわたる質問・要望があり、有意義な時を過ごした。市民要望の中に「現在よりも多くの地域で市民と語る会を開催してほしい」「忠犬ハチ公の由来を子供たちに周知してほしい」とあった。市長の見解は。

〔市長〕 市民と語る会については、できるだけ多くの場所へ出向き膝を交えて話し合いたい。意識を共有していくことの大切さを強く感じている。市民と対話できる機会をより多く設けた。忠犬ハチ公の由来を知らない子供たちへの周知等については、市民皆様が秋田犬のことをきちんと知り、誰もが大館の宣伝マンたり得ることは大変に大事なことである。市民皆様に大館と秋田犬のかかわりの深さを理解し、知ってもらえるような方策を考えてまいりたい。



※1 オストメイト対応トイレ…手術によって腹部に人工肛門や人工膀胱の排泄口(ストーマ)を造設した人(オストメイト)のために特別な設備を備えたトイレ  
※2 PDCAサイクル…Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことにより、常に問題点を改善しながら円滑に業務を進める手法

佐藤 芳忠 議員 (無所属)



業者により除雪の良し悪しに大きな差があります。「市民の除雪苦情データ」を活用し、複雑な除雪をする業者に、強く、ていねいな除雪を指導すべき。

〔問〕 除雪後の間口の雪の塊の処理は、高齢者や障害者など除雪困難者のみならず、市民にとっても大きな負担です。

市は7.4kmの除雪をするために74の業者に除雪を委託していますが、市民の除雪の負担の大小は、その地区を担当する除雪業者によって大きく違います。間口にほとんど雪を置かないような除雪をする業者もあれば、道路の両側に大きな雪の塊を残していくような除雪をする業者もあり、業者によって除雪の良し悪しに大きな差があります。

このような状況を改善すべく、私は25年12月議会で、除雪の苦情件数や内容を業者ごとにデータ化するよう提案し、市長から「今後、苦情件数や内容を路

線や業者ごとにデータ化し業者指導を行い丁寧な除雪に努めた」との答弁をいただきました。

苦情件数が多いワースト10までの除雪苦情データを調べた結果、26年度は1,143件の苦情のうち718件、63%がワースト10までの業者への苦情でした。75業者の中のたった10業者が苦情の主原因でした。中でもワースト3の3業者は、出動が48回で苦情が428件と、除雪するたびに苦情があるような状況でした。

26年度も27年度も、ワースト1と2が同じ業者であること、そしてワースト10の中の7業者が同じであること、更にワースト10の業者で市道の51%を除雪していることなどを考えれば、ワースト10の業者には丁寧な除雪を強く指導しなくてはならないものです。特にワースト3の業者には、出動日に職員が除雪状況を調査し複雑な除雪はその日のうちにやり直させたり、2年連続ワースト3の業者には除雪委託キロ数を減らすような対応も必要ではないかと考えます。

〔市長〕 ワーストに目を向けるだけではなく、除雪車両運行管理システムを有効に活用し、客観的な評価項目や基準を定めた上で、業者への表彰制度を検討するなどオペレーターの技向上を図り、オペレーターの技

術向上に取り組みむことで除雪体制の強化を図り、これまで以上に細やかな除雪を目指します。

〔問〕 市長と私の考え方に食い違いがあるようです。ワースト10以外の65業者の除雪には問題が無いのです。私は複雑な除雪で苦労している市民のために、10業者の除雪を丁寧にしなくてはならないと言っているのです。

〔市長〕 業者への表彰制度など、私はプラスを伸ばすことで今後業界と長い間除雪サービスを提供していく上でいい関係を築いていけると認識しています。



## 桂城小学校6年生のみなさんが

### 議会を傍聴しました

12月6日に、大館市立桂城小学校の6年生48人が社会科の授業の一環として議会を傍聴しました。当日は一般質問が行われましたが、児童は間近で見る市政に関するやりとりに、じっと耳を傾けていました。

## みなさんの感想から

- ◆ 議員を呼ぶときは名前ではなく、番号で呼ぶということを知って知っておどろきました。
- ◆ 1人の発言する時間が40分に決められていて、たくさん発言してすごいなと思いました。
- ◆ 大館市について一生懸命に考えているのがカッコイイと思いました。
- ◆ 意見を発表するときに、必要である訳と、どんなメリットがあるのかということをはっきり述べていて、すごいなと思いました。
- ◆ 議会というのは地域のためにいろいろと相談して決めていくことというのを知り、大館が豊かな市なのは、議員の人たちのおかげだと思います。

# 平成28年11月 議会報告会の結果報告

市民の皆様には多数のご参加をいただき、まことにありがとうございました。意見交換の場でいただいた貴重なご意見やご提言につきましては、今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。

また、市に対するご要望等につきましては、議会から文書で市当局へ回答を求めていますので、とりまとめた上で次回この議会だよりでご報告いたします。

なお、紙面の都合上、ご意見・ご要望等の全てを掲載することはできませんでしたので、何とぞご了承ください。



田代公民館赤川分館

## 開催日・参加人数

● 11月14日(月)	中央公民館 構造改善センター(西館)	13人 0人
● 11月15日(火)	田代公民館 花岡公民館	15人 8人
● 11月16日(水)	比内公民館 下川沿公民館	16人 19人
● 11月17日(木)	北地区コミュニティセンター 田代公民館赤川分館	11人 19人

## 議会への意見・要望など

〔問〕 市庁舎建設について現在の場所に建設するメリット・デメリットなど、議会で議論したのか。離れた地域の人たちにはしっかり説明できるように、説得力あるメリットを強調したほうがよい。

〔答〕 長年議論を重ね、紆余曲折を経て現在に至っております。本庁舎建設特別委員会で検討した結果を総務財政常任委員会でも検討してきております。

〔問〕 政務活動費が話題となっているが、大館市においては必要なのか。

〔答〕 大館市においては月額1万5千円、年間18万円の政務活動費としており、議員の資質向上のため必要と定めています。用途は公開しており他で問題になっていないようなことはありません。御理解願います。

〔問〕 議員の活動がいまひとつ見えない。市民との交流を持つことを考えては。議員の顔が見える活動を。

〔答〕 議会報告会を通して進めています。今後もさらによりよい形になるよう協議してまいります。

## 市への意見・要望など

◆ 大館駅前のタクシー乗り場に屋根の待合所を設置してほしい。

◆ 市立病院の診療制度を検討してほしい。初診で紹介状がなければ診察しないのは疑問。

◆ 市長と語る会を中学校学区単位で年1回開催してほしい。

◆ 町内会長に人口割り手当を出してはどうか。

◆ 樹海ドームや体育館等の公共施設の費用対効果がどのようになっているのか説明していただきたい。

◆ 修学旅行など海外の学生も来やすい誘致事業をしてほしい。通訳ボランティアの対策はどうなっているのか。

◆ 県では聴覚障害者に対する情報提供センターを設置したが、大館市でもセンターの情報発信や周知など協力をお願いしたい。

◆ 働くパパママ支援事業についてPTAの参加者が少ない。参加しやすい環境整備を進めてほしい。

◆ 地域農業法人の活動拠点として、空き校舎を整備・活用してはどうか。

# 私もひ・と・こ・と

第29回

日 景 博 幸  
ひ かげ ひろ ゆき  
さん (釈迦内)



## 一人づくりへの支援

鎌倉幕府の執権北条時頼は、地方の様子を検分するために東北への旅に出ます。その留守に、時頼の愛妾の唐糸姫が、妬む者たちによって小舟に乗せられて海に流されます。やがて津軽の外ヶ浜に漂着した姫は、地元の修厳者に拾われ、貧しい暮らしをしていたところを時頼に見つかります。姫は落ちぶれた姿を恥じ、入水して果てます。時頼が深く悲しみながら遺髪を背におって鎌倉に戻る途中、出羽の国日陽の里に着いた日が初七日です。そこで、近くの獅子ヶ森から材木を切り出して釈迦仏を刻み、追善供養をします。やがて木像は実相寺の初七日山釈迦堂に祀られ、ずっと住民に大事にされています。

旧地名日陽の里である釈迦内には、この伝説にかかわる地名などがあり、釈迦内公民館所属のサークル「温古知新の会」が住民への周知に努めています。会はさらに市の「地域づくり協働推進支援事業」を受け、当地の名所・旧跡の見直しと保存をメインテーマにして活動を進めています。その内容は、伝説の紙芝居出前講座、旧羽州街道の標柱や明治天皇小休憩所跡の案内板設置など多様です。それらの活動によって、会員の生きがいと住民の故郷への関心が高まりつつあると感じています。私はこれらの活動に参画している一人として、大館市が「歴史まちづくり事業」に取り組んでいることに喜びと期待をもっており、地域の遺産を大事に残しながら活性化につなげることができればと願っています。

しかし、対象となる事業がない地域では、活動を継続するための経費の確保に苦慮しています。個人の芳志に頼るだけでは限界があるからです。同じような懸念は、

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。  
議会議務局までご連絡ください。

市議会を傍聴してみませんか  
定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。  
傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。  
なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会議務局にご連絡ください。  
☎43-7108（直通）

## 編集後記

皆様いかがお過ごしでしょうか。季節のめぐるのは早いものです。12月議会の一般質問に桂城小学校の6年生の児童が傍聴に来てくださいました。「子曰く、学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ち殆し」傍聴の感想は「議員の皆さんは真剣に大館のことを考えている」とのことでした。その感想に恥じぬよう私たちは学び、考えを自分のものにして身につけ、自分で考えるだけでなく人からも学び、考えが凝り固まってしまわないよう努めたいものです。  
(岩本 裕司 記)